

### おもな内容

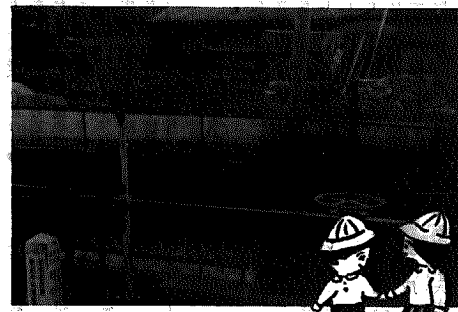
1. 水の事故 (1P)
2. 優良ゴミ収集場所を表彰 (2P)
3. 所得税特別減税 (2P)
4. 工場も店舗も会社も学校も (2P)
5. 早起野球、組合せ決る (3P)
6. 新田子ども会 (3P)
7. 戦後生まれが半分の世の中で (4P)
8. 中国訪問記 (4P)

躍動シリーズ ⑤ 野 球



## 水 の 事 故

地域ぐるみで  
子供を水から守ろう



箇所別	42~51年	52年	計
①用水畑・溝	161	11	172
②庭池	110		110
③河川	73	5	78
④浴槽	54	6	60
⑤防火用水槽	42		42
⑥池・沼	33	12	45
⑦海	15	1	16
⑧水泳プール	4		4
⑨井戸	3		3
⑩肥料ため	2		2
⑪その他	16	3	19
計	512	38	551

### 県内水死事故の発生場所

(県警本部調べ)

この季節がやってきました。この季節になると、子供、特に幼児の水死事故が多く発生します。これは本県が農業県であるため危険箇所が多いことなどの特殊事情があるものと考えられています。

私達は交通事故など車に対する事故防止には関心がありますが、水に対する子供の事故にはいざと気がかりかもしれません。交通事故などとは、直に水の事故のほとんどは、直接の加害者はいません。それだけにその責任は全面的に保護者(子守り)にあるわけでは

①地域ぐるみの安全対策  
 ◎幼児が、危険な場所を遊んでいるときは、すぐに注意してやめさせるか、保護者に連絡しよう。  
 ◎地域の河川や用水路、堀等で危険と思われる場所があるときは、その管理者に対して改善の申し出をしよう。

すから、保護者は平素次のことについて十分注意をはらってください。

一、子守りについての注意  
 ◎留守番や炊事のかたまりは無理が生じます。専門の子守りをつけましょう。  
 ◎幼児は言葉で注意しても判らないので、目と行動でしっかり監視をしてください。  
 ◎眠っているからとか、静かに遊んでいるからといって油断は禁物です。幼児は思いついたとたん、別の行動に移るので注意をしましょう。

二、家庭周辺の危険防止  
 ◎幼児の水死は、そのほとんどが家庭内やその周辺でおきています。浴槽、金魚鉢、バケツ、洗濯機、下水溝など「まさか」と思うところによく注意をはらみましょう。  
 ◎庭池や下水溝などは水の深さや、量に關係なく事故がおきます。ふだんから危険防止の措置を講じておきましょう。

田舎も終り木  
 への青葉が青空に  
 輝く初夏ともなる  
 と、又、水が恐しく  
 なる。小学校でも  
 夏休みな今フー  
 ル作りがたけなお  
 である。所で県警  
 本部外部調査の調  
 査に依ると、昨年の幼児の水  
 死者は三十八人で交通事故死  
 より一・七倍も多く、それも  
 六月が一番多いと云うのに驚  
 いた。発生場所は海や河川よ  
 りも自宅近くの用水路、溝、  
 庭池等日常生活にもよる場所  
 でおきており、時間的に大人  
 の忙がしい十一時から十二時  
 午後四時から五時の間が多い  
 原因としては、幼児の一人  
 又は子供同士の危険な水遊び  
 と保護者の不注意が大半を占  
 めている。問題は「子守り」は  
 老人の役目という習慣がい  
 ぜん残っており、夫婦共稼ぎ  
 が一般的となり育児の社会化  
 が進むにつれ親の育児態度が  
 他人まかせの傾向になってお  
 る。その事は少年期の非行等  
 に比べ世間に対する恥辱感  
 乏しい事、幼児の心理的な特  
 性や運動感覚の発達状態等を  
 理解していない点である。そ  
 の対策が又非常に困難である  
 と云うのは原因の大半は親  
 又は子供の不注意に依るもの  
 で直接の加害者がいない、幼児  
 にとって水のある場所すべて  
 が危険箇所であり、安全施設  
 の整備等に依る防止効果が余  
 り期待出来ない。又救えたり  
 注意するだけで防止出来ない  
 点が問題である。事故を「選  
 びなかつた」とか「不幸の  
 出来ごと」としてすまさない  
 いで、子供の水死事故を防ぐ  
 為に家庭と地域の人が力を合  
 せていすく、今一度浴槽、  
 溝、下水路、浴槽を上げれば  
 限りがないが、「まさか」と  
 思う所に落ちて死があるの  
 点、他人のことは干渉し  
 ない、と云う者ながらの風習を  
 破り、「安全の家」である子  
 供を水死事故から防ごうでは  
 ありませんか。(山崎)